



Lend a Hand

手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

第 2560 地区ガバナー

- 原 信一
- 会 長 佐野 勝 栄
- 会長エレクト 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
- 副 会 長 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
- 幹 事 荻 根 沢 隆 雄
- S A A 杉 山 幸 英
- 会 計 渋 谷 正 一

- 例 会 日 毎週水曜日 12:30~
- 例会場及び 三条市旭町 2-5-10
- 事 務 局 三条信用金庫本店内
- 例 会 場 TEL 35-3311
- 事 務 局 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/

(~は shift を押しながら“へ”のキーを押してください)

本日の出席会員数	65名中48名
先々週出席率	88.71%

先週のメイクアップ

5/9 分水RC30周年記念式典へ

- 佐野勝栄さん 荻根沢隆雄さん 会田二郎さん
- 藤田説量さん 平原信行さん 広岡豊作さん
- 細井増雄さん 五十嵐寿一さん 松谷昊吉さん
- 小越憲泰さん 渋谷正一さん 高森章仁さん
- 渡辺喜彦さん 山田富義さん

会 長 挨 拶



佐野 勝 栄 会 長

皆様こんにちは、ゴールデンウィークはどの様に過ごされたでしょうか？

5月2日群馬・3大名山の1つである妙義山へ中村さんの山の仲間5名で朝3時30分に出発し、登って来ました。

中国の山水画に出てくる様な山並みで大変個性的な山でした。

6時間程の行程でいい汗を流してまいりました。翌日は久しぶりに家族一同が集まり、下田村の「嵐溪荘」へ泊りました。私とすればすでに何回か行ったので、新鮮味をそれ程感じなかったのですが、都会の人から見るとポツンと一軒家が建ち、五十嵐川のせせらぎの音を聞きながらのお風呂や山菜を取り入れた食事感激した様です。

「嵐溪荘」はNHKドラマのロケ現場にもなったせいか全国から予約が殺到して、嬉しい悲鳴をあげている様です。観光地の温泉宿も長引く不況で閉店するのが相次ぐ中で、下田村は有名になる程の観光地でもないのに1ヶ月前に予約をしないと中々取れない程で、この様に人気全国的に広まると不景気しらずの大繁盛になる事を身近に感じた次第です。他者にはない独特の個性や特徴、ノウハウ、ブランド等があれば商売が繁盛する例だと思います。

さて、先日9日(日)分水クラブの30周年記念式典に出席してまいりました。私共のクラブが

スポンサーとあって、日曜日なのに15名の方々に参席いただきました。参加された皆様大変ご苦勞様でした。お役目とはいえ、クラブを代表して祝辞を述べさせていただきます。私は入会して15年になりますが、30年前の分水クラブの設立の経緯などまったくわかりませんので、当時、会員でした野水さん、熊倉さん、吉井さんにお聞きして、お陰さまで何とか祝辞を述べることができました。

さて、いよいよ今月の23日から26日の4日間、大阪にてRI国際大会が開催されます。当初、三条3クラブ合同旅行45名の予定に対して、55名の参加者に増えました。

国内での開催とあって県内の各クラブも参加者が多く5月3日現在ですでに46,873人の登録に達した模様です。たまたま先週ロータリーの友をホーム・ページで見ていたら、B.マジアバ会長のメッセージが載っており、こう言っておられます。

「国際大会に参加したら、そのエネルギーを活力に変え、それを自分のクラブへ持ち帰る事を考えてください。」

そして、大阪国際大会実行委員会のお知らせがありましたので、ご案内します。

2年程前より大阪府とともに皇太子殿下、妃殿下のご臨席をお願いしておりましたが、去る3月下旬、諸種の事情により、行啓されないとのご意向が、宮内庁から明らかにされました。誠に残念ですが致し方ないことと存じます。

注意事項として2点程ありました。

1. 会場へは公共交通をご利用ください。

本大会は、4万人以上のロータリアンならびゲストの方々に参加します。

交通渋滞を引き起こす恐れがある為、大阪市内にバス専用駐車場を用意している。

あとは私鉄、地下鉄を利用できるKANSAIカードを用意したので、参加クラブへ送りますからご利用ください。

2. 名札をお忘れなく

クラブ宛に事前に名札が届いていますので、忘れない様に持参ください。

無い場合は決して入場ができません。

これについては、前もって皆様へ渡さず、幹事が一括して持ち、現地で配布する予定ですので、ご安心ください。

ちなみに、私共のクラブからはご夫人1名を加え総勢17名の参加です。

帰り次第、翌日26日の例会に参加された皆様から、国際大会参加報告をさせていただきます。それでは行ってまいります。

幹事報告

根沢隆雄幹事

◎原ガバナー事務所より「ロータリー山の会」のご案内が届いております。

と き 6月5日(土)～6日(日)

と ころ 上権現堂山～下権現堂山

参加費 10,000円

(宿泊、懇親会、6日昼食)

集合場所 広神村 中子沢温泉 羽川荘

◎新発田城南RCより

2004～05年度インターアクト年次大会開催のご案内が届いております。

と き 8月7日(土)～8日(日)

と ころ 新発田市生涯学習センター

ニコニコBOX

佐野勝栄さん

先日9日の分水クラブ30周年に参加された皆様ご苦勞様でした。お陰様でスポンサークラブとして面目が立ちました。

荻根沢隆雄さん

連休は日帰り旅行を2回やりました。どちらも大変楽しく有意義でありました。

松永一義さん

長男が原宿でささやかな式を挙げました。

斎藤弘文さん

○4月23日、夕方のNHKニュース番組に私のみにくい顔が映りました。

○ゴールデンウィークは3日間栃木にてゴルフをして来ました。

佐藤 武さん

ポーラ化粧品の会長が設立したポーラ美術館を見学して来ました。素晴らしかったです。

広岡豊樹さん

丸山会員から大変便宜を計って頂いています。

会田二郎さん、藤田説量さん、五十嵐昭一さん、石塚欣司さん、石月良典さん、高橋 司さん

山本さん、五十嵐さん、卓話ご苦勞様です。楽しみにしております。

船越正夫さん、杉山幸英さん

よいことがありました。BOXに協力致します。

5月12日分 ¥19,000

今年度累計 ¥934,000

卓話



山本 福七 会員

杖を片手に久しぶりにこの壇上にきました。話のテーマは決まっていますが、主にユーモアについてお話ししたいと思います。差障りがありますが、本日ご出席の藤田説量

さんの前で藤田さんに関する話をいたします。それから五十嵐晋三さんの固有名詞も出させていただきます。

まず、今日配布された「ロータリーの友」の18ページにロータリー柳壇「吉龍城選」が載っていますので、後で読んで頂きたいと思います。川柳をやっていると、読み方に抑揚をつけて読むのが通例でして、読んでみますと「夢を見る顔で坊やと呼ばれてる」これは新潟の小林さんですね。それから「共に喜寿迎えたかったなあ妻よ」・・・なかなかロータリアンとしては良い川柳だと思います。

最近ユーモアが世の中から姿を消しつつあるように感じます。三条ロータリーでは皆さん同じテーブルで、いろいろユーモアを交えて懇談されています。私はユーモアのある人間に改造できないかと大それた希望を持ちました。その動機と言うのが、藤田説量さんがガバナーの時、わたしは地区幹事を3年間担当いたしました。その時に、藤田さんの鞆を持って群馬や県内を廻りましたが、藤田さんが挨拶をされる時に、必ず満場が爆笑する非常にウィットのある素晴らしいスピーチをされた。例えば群馬ではカバナー初当番で挨拶された時に、前ガバナーがお医者さんで新潟大学の渡辺名誉教授でした、その方の後任として藤田さんがなられたのですが、「医者の後任として坊主が引き受ける事になった」の一言で満場爆笑となりました。そう言うことは努力などではなかなか話せるものではないと思いますが、出来るだけユーモアの精神を身につけたいものだと感じた次第です。その思いが私が川柳に首を突っ込むようになった動機であります。

藤田さんのお陰で、どうやらこうやら川柳を創れるようになりましたけれども、そんな訳で冒頭に雑誌の川柳を読んだ次第です。

この「ロータリーの友」の記事は基本的に硬く真面目ですね。決められた約束事をキチンと守り、定款・細則に忠実に従っていますね。「手続要覧」と言うものが有り、幹事をやったらそれを熟読玩味して、内容を消化しなければ地区幹事は勤まらないと、先輩にしかられ読んでみましたら、読め

ば読むほど分からないですね、きっと英語の直訳なんだと思いますが、とにかく分かりにくいものです。今でも相変わらず分かりにくいでしょう。でも分かりやすく書いたものをを出されている方もいらっしゃると思います。

忙しい中、ユーモアを身に付けることはなかなか大変な事と、私も経験から感じていますが、そういうものは出来る限り皆さんの頃からスタートなさったほうが得であると思います。私は社長を11～12年前に退任して会長になりました。現在職業分類委員長ですが分類方法も少しおかしいと思います。とにかく定款・細則に忠実にやっているからそんな風になるのかも知れません。とにかく余り堅苦しくないことが涵養と思います。次に五十嵐晋三さんのことですが、それと山田富義さんのことも言及しておきたい。五十嵐さんはこの次に卓話されますが、山田さんは抜群の社交センスがあると思います。また、非常に思いやりと言うか心遣いの細やかな方です。特に年寄りを大事にされる方です。杖を突いている私を見殺しにしたことがありません。本当に何時も恐縮しており、歴代親睦委員長の手本であると思います。(拍手!!)



五十嵐 晋三 会員

山本さんのようにユーモアが無く硬い話になるかも知れませんがお許しをお願いします。私には二人の推薦人がおりまして、ある日「ロータリーにお前を推薦しておいたから来るように」

と言われました。何も考えていなかったのでしょうかかと思っていたら、もう一人の方から、「お前、言われるうちが人間、華なんだと」「入らなければ遊んでやらないから」と言われ、そんな事に入会させてもらいました。会場は中央支店の二階にあった頃で例会に出席してみると、初代会長の金子三郎さんがドアの一番前に出迎えてくれて、「よくいらっしゃいました、お待ちしていました」と言われ、一瞬体が硬くなってしまい、とんでもない所へ来てしまったのが実感でした。

暫くして新会員のオリエンテーリングが松木屋さんであり、講師はハセゲンさんの長谷川社長さん、三条土地の斎藤さん、田巻歯科の田巻先生、それから鈴木宗資さんと会長の広岡さんでした。それから新会員は、上木六治さん、石橋育於さん、私の三人でした。

先輩の皆さんは始終にこやかに、ロータリーの話をしてくれ大変楽しそうに我々を見つめていらっしゃいました。「とどのつまりはとにかく出席

をしろ！」「出席をすることによってロータリーが分かるんだと」を徹底的に叩き込まれました。そしてオリエンテーリングが終了しました、そして鈴木さんが芸者を呼んで欲しいと言われました。依頼された松木屋さんはビックリしてオリエンテーリングで芸者を呼んだことは無いと思ったのですが、呼びました。後で思ったのですが、あのまんま我々三人が酒を飲んだら、「飲んだのか食ったのか全然わからなかったのだらうと思います。」鈴木さんは我々を少し和やかにしてやろうと言う計らいで芸者を呼んでくれたと思います。

それから暫くしましたら、卓話が回って来ました。大先輩の前でお話することは何も無いものですから、当時の金物屋の話をしていただきました。当時は380社以上の会員を有するマンモス団体でした。三条の地場産業は勿論ですが、他産地の商品もどんどん取り入れて三条の流通を通すと全国に商品が網羅されるという、大変便利の良いものでありました。

卓話は25分の予定で始めたんですが、15分で終わってしまいすっかり困ってしまい、親しい先輩は「まだ半分しか終わっていないぞ！」などと言われますし、そんな事を言われたって話す事も無いし、勘弁してもらいションボリと席に戻りました。その時、金子六郎さんがメイキャップに来ておられまして、例会が終了した後に私の所にお出でになりまして、「五十嵐さん、今日の話は金物業界の事をよく勉強させて頂いて大変有り難かった、いい卓話でした」と言ってくれました。私は、すっかり嬉しくなりましてホットした事をよく憶えています。

芸者を呼んでくれた鈴木さんにしろ、金子六郎さんにしろ、やはり幅のある奥行きのある方はその言葉がでるのだなあ、そんな事を後になって思うのであります。

当時私は例会に出ますと、結構緊張しておりました。先輩の皆さんは、我々が普段言っている同じ事を聞いても、やはり説得力があると感じましたし、また、なるほどなと思う事もよく勉強させて頂いて、やはり先輩と一緒に食事をすると言う事は、ためになると思いました。

私は金物屋でありますので、よく出張いたしました。そのような時は、例会への出席を徹底的に叩き込まれていたものですから、よくメイキャップをしました。その中で得をしたことを話したいと思います。名古屋でメイキャップをした時、会場は名鉄グランドホテルでした。季節は秋でちょうどワインの「ボジョレ・ヌーボー」が解禁の日でして、会員の中で「ボジョレ・ヌーボー」を取り扱っていたと思う方が、飲んで欲しいと沢山置

いてありました。これは良い所に来たなど、やっぱり時にはこういう場所に来て見るべきと思いながら、小羊のステーキを食べながら飲みました。大変良いものだと思います。

また、その例会には名古屋フィルハーモニーのファーストバイオリストの演奏付きでありました。やはり都会ならではの例会だと感じてきました。都会に行ったら大いにメイキャップをするべきと感じたものです。

話は変わりますが、私の友達に兵庫県の藤本ミチヒロと言う方がおります。その人は「匠」と言うマークで我々の業界の商品を作っている社長であり、彼はよく三条に出張して来てまして、私の所によく顔を出しておりました。その彼が神戸の震災の後に来られまして、久しぶりに懇親をしたのですが、その時の話題として、彼には神戸に友達がおりまして震災のお見舞いに行った折り、家は半壊し、夫婦は呆然と立ち尽くして、どんな言葉を掛けていいか分からなかったそうです。夫婦には二人の大学生がおり、その時彼は「子供の学資は全部俺が見るから」と言わざるをいない状況であり帰ってきたそうです。それから数日後に相当な金額を振り込んだそうです。「お前さん良い事をしたね、なかなか出来ない事だな」と言って酒を飲んで過ごしました。その後その話は普段は忘れていたのですが、テレビなどで震災から何年などと報道すると思い出す程度でした。三ヶ月程前にも報道があった時、思い切って藤本さんに電話をして、あの時援助した夫婦はどうなったか聞きました。そうしたら「一年半位経ってから全額返しに来た」自分は受け取らないつもりでいたけど、どうして返すのか聞いたら「お陰さまで助けていただいた、今日使おうか明日使おうか何度そのお金に手をつけようか何度も考えた事があったけど、また、その金がバックになって助かった」「子供も目安がついた」「商売もやっていけるようになった」「本当にこの金で生かしてもらった」との話から、返してもらうことにしたと言っていました。今なら不景気だからそんな事は出来ないけど、当時であつたら出来たんだと笑って答えてました。そんな立派な友達もロータリアンであり、そんな話をご披露したいと思いました。

次週例会 5月26日(水)

クラブ・フォーラム「国際大会報告」

次々週例会 6月2日(水) 会員卓話

細井増雄会員 加藤紋次郎会員

